

令和7年第4回(9月)定例会

議長 続きまして、質問順位4番 8番議員 灰岡裕美議員。

議長 灰岡議員。

灰岡議員 おはようございます。灰岡裕美です。

本日は、新しく就任された坂本町長に何点か、3点ご質問いたします。よろしくお願ひいたします。

まず最初に、和木町学校給食センター建設について伺います。

前町長の元、令和5年8月に和木町学校給食センター整備基本構想が示されました。構想によりますと、令和10年度に新給食センター供用開始となっております。またスケジュールによりますと、令和7年度に、A. 和木町学校給食センター基本計画の公表、B. 建設場所の公表、C. DB方式発注支援業務の実施とあります。Aの基本計画の公表は本年令和7年3月議会に示されました。

最初に質問いたします。現在和木町学校給食センター建設に対するスケジュールは、当初のスケジュール通りに進んでいるのでしょうか、今の状況を質問いたします。

議長 坂本町長。

坂本町長 はい、灰岡議員より、学校給食センター建設のスケジュールは当初の予定通りに進んでいるのかというご質問をいただきました。確かに議員さん言われましたように、令和7年度基本計画、議員さんの前に公表したと思います。その中で場所が瀬田、打ちっぱなしの向こう側、それから旧幼稚園跡地、それから関ヶ浜、3つの候補地があってそれが絞れてないという状態ですけど、順調に行ってると、私は後ほどの質問に出てくるんかわからないんですけど、選挙期間中には、場所はもう関ヶ浜で建設しますということを町民の皆さんにアピールしております。

その理由はですね、まず蜂ヶ峯、打ちっぱなしの向こう側の

## 令和7年第4回(9月)定例会

土地はですね、町有地ではございません。私有地でございます。それを買うのか使用料を相殺するのかわかりませんけど、まず町有地でないというのが大きなネック。それから仮にその土地の問題が解消いたしましたも、蜂ヶ峯から毎日毎日ですね、子どもたちに給食、配食の車をですね、あの坂道を下りたり上ったりする。よろしくないのではないかなと思っております。そして冬場なんかは凍結、スリップの危険性がございます。それから和木幼稚園跡地という案もございましたけど、これは先程、嘉屋議員から質問があったように、跡地利用、非常に重要な問題でございます。そこにこの給食センターというのは、食品工場のようにちょっと特殊な公共施設でございます。それをもっていくのが本当にいいのか。町のど真ん中一等地に給食センターを持っていくのがいいのか、思つたらちょっと?だなと思って、3つの候補地から私の中で消去法で蜂ヶ峯、和木を消した残りが関ヶ浜ということで、順調に進んでいるのかということは、一応候補地を関ヶ浜に絞りたい。それをこの議会中に皆さまとお約束した後に、職員に指示を出して仕事を進めていきたい、このように考えております。以上です。

灰岡議員

はい、議長。

議長

灰岡議員

灰岡議員

選挙中に町長が関ヶ浜に決定したいということをおっしゃっていたということをお聞き、耳にいたしまして、次の質問でその意図をお伺いするつもりでしたが、今、お答えいただきましたので、関ヶ浜地区に決められたということを今、お伺いしました。

次の質問です。

町長がおっしゃった通り、給食センターが関ヶ浜地区に建設された場合、特に災害が起きた時に関ヶ浜地区の方は、避難場所である和木町コミュニティセンターと和木町の和木地区に

## 令和7年第4回(9月)定例会

避難されてくるのは大変、川沿いの道を避難されてくるというのは大変困難な難しいことだと思います。それで距離的にも遠いですので、関ヶ浜地区にもし学校給食センターを建設した場合、是非私たちも何ヶ所かこれまで視察場所に避難所をかねた学校給食センターを視察してまいりました。大変すばらしい、何か災害が起きた時に、地区の方々が安心して避難できる、近い場所で給食センターを建てていただきたいという気持ちが大いにあります。ただそのためには財政的にも厳しいことだと思うんですが、もし町長が避難所を兼ねた学校給食センターの施設を関ヶ浜地区に建てる場合、あつ今の時点でお伺いますが、そのための学校給食センター施設に避難場所を併設するとなったら、そのためのいろいろな補助金を受けることも可能となることを視察場所でいろいろ伺ってまいりました。その場合、これまでの計画では、前回質問した場合、学校給食センターにどこの場所であれ、避難所は併設しないというお答えを私はいただいております。もし関ヶ浜地区に実際に給食センターを建設した場合、そこに避難所施設を併設するかどうか、町長のお考えをお伺いしたいと思います。

議 長 坂本町長。

坂 本 町 長 はい、ただ今、灰岡議員さんから学校給食センターに、関ヶ浜地区の方はコミセンに避難するのは非常に困難であるから、給食センターに避難所を併設したらどうかというご質問をいただきました。

確かに議員さんおっしゃられるように、そこに避難所があった方が関ヶ浜地区の方は非常にありがたい話でございます。ただですね、私、今、思っているのは、給食センターこの建屋、もう必要最低限の機能でデザイン性もシンプルで雨漏りをしない、和木町、財政裕福ではございません。ですから必要最低限の給食センター。とはいってもですね、今そこで働いておられる職員、会計年度任用職員14名ばかりいますけど、その方が仕事がし易い、今はプレハブの給食センターで、今年

令和7年第4回(9月)定例会

の夏なんか暑かったんでもう全身びっしやになって、冬は寒いと、そういう状況は改善できる。それを優先して、避難所を併設というのではないよりはあった方がいいんですけど、財政とちょっと相談しながら考えたいと。今の頭の中では、給食センターはシンプルにもう必要最低限で建てていきたい、このように考えております。

議長 灰岡議員。

町長就任なさったあと、給食センターの話を町長とお話しさせていただきました。その時に町長は、昨今の建設事業費の高騰を鑑み、学校給食センターの建設を大いに早めていきたい。そのために財政調整基金の取り崩しも考えていらっしゃる、との発言をお伺いしました。

これまで学校給食センターの、今、町長がおっしゃったとおり、厳しい職場環境の給食員の皆さまの職場環境の改善を訴えてきた私にとっては、大いに嬉しい思いはあります。ただ、これから財政の面も含めて、給食、学校給食センター建設までの道筋をどのように考えておられるのか、構想がありましたらお聞きしたいと思います。スケジュールも含めてお願いいいたします。

議長 坂本町長。

給食センター建設にあたってのスケジュールということでございます。

まあ議員さんも私も一緒の考え方で、一刻も早く労働条件を改善したいという思いは一致しておるところでございます。ですから一刻も早くやろうと思えばですね、今、令和7年度ですけど、来年令和8年度に基本設計。令和9年度実施設計。10、11、2カ年で建設。12年から供用開始というのが一番スピーディなスケジュールではないかなと考えております。

## 令和7年第4回(9月)定例会

そしてお金、財政調整基金の話をされましたけど、先般ここ補正予算で補正後の財政調整基金15億という数字を聞いておりますけど、それにつきましては、一応財政調整基金15億あるんですけど、いったん出すんですけど、和木町は米空母艦載機の交付金が約2億5千万から6千万ございます。それをあてがえば財政調整基金はほとんど出さずにできるというシミュレーションを今しております。以上です。

議長

灰岡議員。

灰岡議員

今の町長のお答えを聞いて、少なからず驚きました。令和8年度基本計画、令和12年度から運用の開始、とてもすごいスピードで進めなければならない事業だと思います。

今回、町長選挙の後に、学校給食センターの調理員の方とお話する機会がありました。その際に、やっと給食センターが建設、方向が動き出す、始めるということで大変喜んでおられて、また期待もしておられました。ぜひぜひ、猛スピードで進めなければいけない事業だとは思いますが、その計画をその都度議会へも示していただき、私たちちゃんと町長と同じ気持ちで向かっていきたいと思いますので、その計画を、執行部の皆さんも大変だと思いますが、ぜひぜひよりよい学校給食センターが建ちますように祈念しております。以上で1番目の質問を終わります。

次に2つ目の質問に移ります。

2つ目の質問は、先程同僚議員も質問しました通り、旧幼稚園、及び旧保育所跡地の貴重な町有財産の活用を質問いたします。

旧幼稚園跡地の活用については、私は令和元年、令和3年、令和5年と、この議会定例会で質問を重ねてまいりました。こども園新設後、令和3年2月にPRE活用検討会の提言書が示されましたが、しかしコロナ禍の中でこれまで検討会は休止していると聞いております。

今回の町長選挙において、新町長の考えが示される発言が

## 令和7年第4回(9月)定例会

ありました。私は、先程の給食センターも含めて、最初にいただいたパンフレットの公約になかったため大変驚きました。先程、同僚議員も質問しましたが、旧幼稚園跡地の活用について町長の考えを質問したいのですが、先程のお答えの中にとりあえず、まず最初に和木幼稚園跡地の解体をして、それから町民の方々皆さんのお意見を聞いて、どう活用していくのか、跡地検討を重ねて決めたいとおっしゃっていました。

それではこれまでいったん開始されて休止している PRE 活用検討会はもう休止のままということで、理解でよろしいのでしょうか。お伺いいたします。

議 長 坂本町長。

坂 本 町 長 はい、PRE 検討会の中止のままということではなく、そういった話し合いの内容も踏まえた上でですね、みなさんと、町民の皆さん、議員の皆さんと話あって、何が一番ベストなのかという答えを見いだしていきたい、このように考えております。

議 長 灰岡議員。

灰 岡 議 員 こども園新設後、7年経ちます。7年が長いのかといういろいろな考え方もあると思います。コロナ禍もありましたし、ですのすぐ跡地をこうするどうするということは本当に決めるのは大変な困難な、しかも給食センターの建設も絡んでおりましますし、困難なことだと思いますが、同僚議員の話にもあったように建設費、人件費の高騰、どんどんどんどん公共施設の新設が難しくなっている現在、皆さんの声を聞いて、もちろん私たち議会も視察を重ねてまいりたいと思います。どのような形がよいのか。実は昨年も視察で岡山県にまいりましたときに、議会棟というもの、新庁舎に議会棟というものはなくて、一応いろいろな団体で会議ができる場所に、議会開催時だけに利用する共用の会議室というのを視察しました。

## 令和7年第4回(9月)定例会

そういう形でいいと思うんですね、町民の皆さんのがいろいろ使いやすい庁舎、これから増えてくるんじやないか思うんですが、そういうことも含めて従来の常識では考えられない多様な使い方のできる施設。もちろん人口を増やすための施設でもあっていいと思いますので、いろいろ検討をこれから重ねていくということですので、楽しみしております。

ただ、質問なんですが、今年度、昨年の定例会において旧保育所の解体工事は決まりました。本年、また補正予算において工事費の増額が可決されました。

しかし解体だけについても、増額増額が続いております。そして保育所の跡地の活用、町長、先程まだ決まってないをおっしゃいましたが、私たちの考える解体後の跡地利用と、町の考える、例えば幼稚園跡地を解体した後、例えば福祉社会館やコミュニティセンター、保健センターで行われている事業に対して、駐車場がないじゃないか、場所が無いじゃないかという声もいろいろ町民の方から入ってきております。そういうことを考えて多様的にやはり解体後どうするのかっていうのは、難しいと思うんですが、まず最初に解体が決まってる保育所の跡地について、先程町長は構想はないと言われましたが、優先順位はありますか。もし優先順位があれば教えていただきたいと思います。それは町長のお考えになる優先順位でお伺いいたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

議長 坂本町長。

坂本町長 はい、ただ今、保育所の解体した後の優先順位は何かと。私思うにですね、保育所の土地は旧幼稚園に比べて非常に狭もうございます。ですから、活用方法も限られてくると思います。ただ、先程同僚議員の質問に回答したように、今、何にしたらいいかなということは、白紙の状態ですのでご了承ください。

議長 灰岡議員。

## 令和7年第4回(9月)定例会

灰岡議員

はい、19日に初登庁されてすぐに議会が始まり、このような質問するのも難しいとも思ったんですが、まだ白紙であるならば、先程町長がおっしゃったように町民の意見、議会の意見も考えて、もちろん町民より暮らし易い町にするために考えていただきたいと思います。度々同じような質問で失礼しましたが、再度町長のお考えをお伺いいたしました。

最後の質問です。

「上関地点における使用済燃料中間貯蔵施設」建設における町長の考え方を伺いたいと思います。

先月、中国電力は、上関町で計画している使用済核燃料中間貯蔵施設について、予定地を「適地」と結論づけた立地可能性検査、調査、失礼しました、立地可能性調査の内容を上関町に質問されました。

これを受けて今定例会、9月定例会では、周辺1市3町の議員からの質問が相次いでおります。さらに前町長は、和木町は上関町の周辺自治会、周辺自治体ではない、建設予定地エリアから本町は半径50km離れており、コメントは差し控えるとの考えを当時示されました。

和木町の町長として、上関町における使用済核燃料中間貯蔵施設について、どう考えておられるのか、町長の考え方を伺います。

議長

坂本町長。

坂本町長

ただ今、上関における中間貯蔵施設についてのご質問をいただきました。

本年8月29日の報道の通り、中国電力から上関町に対し使用済中間貯蔵施設建設予定地への建設は、立地可能だという調査結果が提出されましたことは承知をしております。

また上関町は、施設設置については、事業者から具体的な計画が提示された後に判断することとしており、現時点、その是非を判断しているものではありません。

令和5年9月に同僚議員さんからのご質問に、前町長が

令和7年第4回(9月)定例会

ご回答しております通り、中間貯蔵施設の建設予定地から50km以上の距離のある本町としては、その是非について申し上げる立場にありませんが、引き続き上関町における対応状況を始め、今後の動向をしっかりと注視してまいりたい、このように考えております。

議長 灰岡議員。

灰岡議員 はい、結論として言えば、坂本町長は前町長と同じお考えということでよろしいんでしょうか。はい、わかりました。この質問は町長のお考えをお伺いするに留めておきます。  
はい、以上で、私の一般質問を終わります。

議長 再質問がないようですので、以上で、灰岡裕美議員の一般質問を終わります。

議長 ここで暫時休憩をいたします。  
10時15分から開始いたしますのでお願いします。

休憩 10時 04分

再開 10時 15分